

# 1 【さあ主にささげよう】

さあ主に捧げよう 感謝の 歌を  
さあ主に捧げよう 感謝の 歌を  
ハレルヤ ハレルヤ 力の限り  
ハレルヤ ハレルヤ 主にささげよう

さあ主の御前で 喜び踊ろう  
さあ主の御前で 喜び踊ろう  
ハレルヤ ハレルヤ 力の限り  
ハレルヤ ハレルヤ 喜び踊ろう

## 新聖歌372番「聖なる者と」

1 聖なる者と なさんとて  
主われらをば 召し給えば  
聖なるものを 追い求めて  
俗なるものと 手をば切らん

2 聖なる者と ならんため  
聖なる君の 言う言葉を  
信じて学び 実行せば  
大御心(おおみこころ)に 沿うことを得ん

3 聖霊の火よ ああわれらに  
天より降り 聖別なし  
主イエス君に 愛せらるる  
全き者と 成し給え

## 聖霊の主よ

聖霊の主よ いまここに  
臨んでください 新しく  
砕き とかし 造り 満たし  
聖霊の主よ いまここに

聖霊の主よ いまわれに  
臨んでください 新しく  
きよめ 助け 強め 燃やし  
聖霊の主よ いまわれに

# 5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り
3. 個人的な願いの祈り
4. とりなしの祈り
5. 日本と世界の平和を願って...

・大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため  
・瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため  
・教会が成長しますように!

- ①信徒の皆様が恵まれた信仰生活を送り、キリストの似姿に変えられる成熟と祝福に与りますように
- ②新しい方が来られますように、未信者の方がイエス様を信じ、救われ、洗礼に導かれますように
- ③地域の方々に良い証がたてられ、神の国が広がられますように。
- ④瀬戸市・愛知県・日本全国・世界宣教のために用いられる教会となりますように。

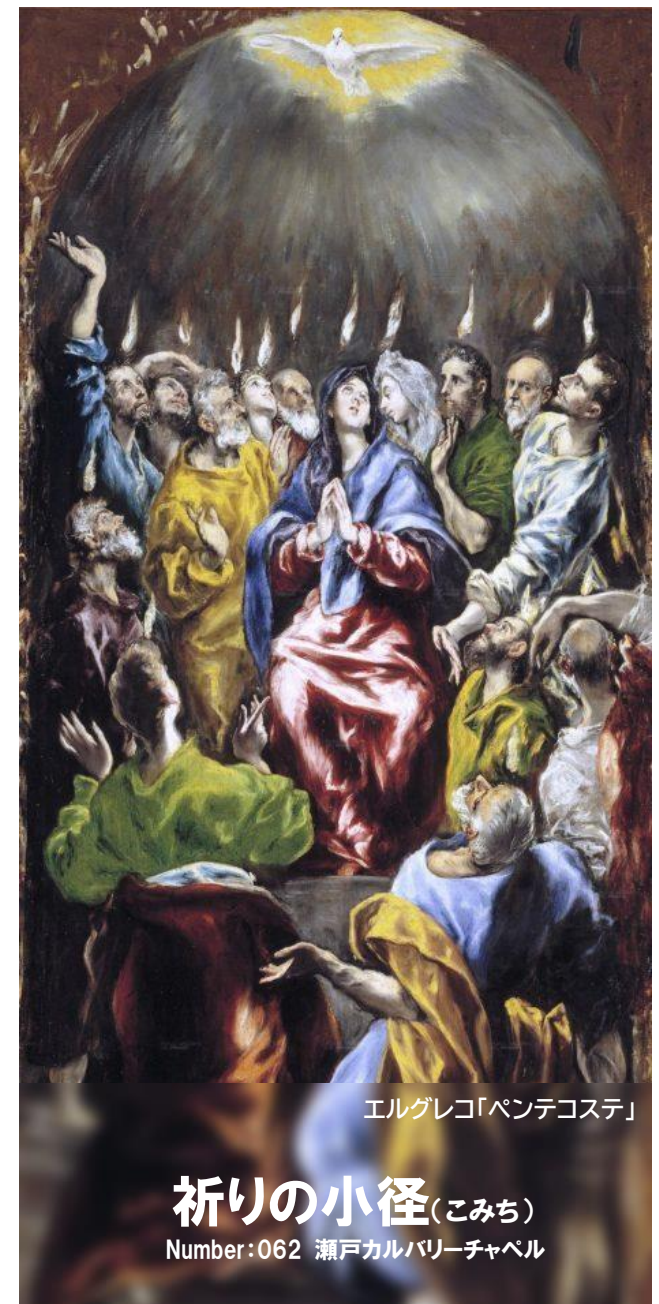
コリント人への第二手紙3章6節・16～18節

神はわたしたちに力を与えて、新しい契約に仕える者とされたのである。それは、文字に仕える者ではなく、霊に仕える者である。文字は人を殺し、霊は人を生かす。

16 しかし主に向く時には、そのおおい取り除かれる。17 主は霊である。そして、主の霊のあるところには、自由がある。18 わたしたちはみな、顔おおいなしに、主の栄光を鏡に映すように見つ、栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられていく。これは霊なる主の働きによるのである。

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899  
牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



エルグレコ「ペンテコステ」

## 祈りの小径(こみち)

Number: 062 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

## 2

### 今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

使徒行伝2章1～21・41節

1 五旬節の日がきて、みんなの者が一緒に集まっていると、2 突然、激しい風が吹いてきたような音が天から起ってきて、一同がすわっていた家いっぱい

に響きわたった。3 また、舌のようなものが、炎のように分れて現れ、ひとりびとりの上にとどまった。4 すると、一同は聖霊に満たされ、御霊が語るま

まに、いろいろの他国の言葉で語り出した。

5 さて、エルサレムには、天下のあらゆる国々から、信仰深いユダヤ人たちがきて住んでいたが、6 この物音に大ぜいの人が集まってきて、彼らの生れ故郷の国語で、使徒たちが話しているのを、だれもかれも聞いてあつけに取られた。7 そして驚き怪しんで言った、「見よ、いま話しているこの人たちは、皆ガリラヤ人ではないか。8 それなのに、わたしたちがそれぞれ、生れ故郷の国語を彼らから聞かされるとは、いったい、どうしたことか。9 わたしたちの中には、パルテヤ人、メジヤ人、エラム人もおれば、メソポタミヤ、ユダヤ、カパドキヤ、ポントとアジヤ、10 フルギヤとパンフリヤ、エジプトとクレネに近いリビヤ地方などに住む者もいるし、またローマ人で旅にきて

いる者、11 ユダヤ人と改宗者、クレテ人とアラビヤ人もいるのだが、あの人々がわたしたちの国語で、神の大きな働きを述べるのを聞くとは、どうしたことか」。12 みんなの者は驚き惑って、互に言い合った、「これは、いったい、どういうわけなのだろう」。

13 しかし、ほかの人たちはあざ笑って、「あの人たちは新しい酒で酔っているのだ」と言った。14 そこで、ペテロが十一人の者と共に立ちあがり、声をあげて人々に語りかけた。「ユダヤの人たち、ならびにエルサレムに住むすべてののかたがた、どうか、この事を知っていただきたい。わたしの言うことに耳を傾けて

## 3

### 黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

15 今は朝の九時であるから、この人たちは、あなたがたが思っているように、酒に酔っているのではない。16 そうではなく、これは預言者ヨエルが預言していたことに外ならないのである。すなわち、17『神がこう仰せになる。終りの時には、わたしの霊をすべての人に注ごう。そして、あなたがたのむすこ娘は預言をし、若者たちは幻を見、老人たちは夢を見るであろう。18 その時には、わたしの男女の僕たちにもわたしの霊を注ごう。そして彼らも預言をするであろう。19 また、上では、天に奇跡を見せ、下では、地にしるしを、すなわち、血と火と立ちこめる煙とを、見せるであろう。20 主の大きい輝かしい日が来る前に、日はやみに月は血に変るであろう。21 そのとき、主の名を呼び求める者は、みな救われるであろう』。

41 そこで、彼の勧めの言葉を受け入れた者たちは、バプテスマを受けたが、その日、仲間に加わったものが三千人ほどあった。

## 4

### みことばの解説



あなたの栄光を示してください！

Show us Your Glory! 出エジプト33の18

パンテコステ(五旬節)は、復活から50日目…

- (1) 二階座席の120人に聖霊が注がれた日です。
- (2) 彼らは他国のことばで福音を語り、救われる人が3000人とえられました。
- (3) そこから教会(エクレシア)がスタート。ぞくぞくと仲間が加えられ、地域の人に好意をもたれていました。

↓

五旬節は、ユダヤ人にとっても三大祭りのひとつ、「七週の祭り」です。過ぎ越しの祭りの際に行われる「大麦の初穂の祭り」から、数えて50日目、今度は小麦の初穂の祭り(出エジプト 34:22)。この日には「2つの小麦のパン」が捧げられるのが特徴です。収穫の初穂を捧げる感謝の祭りですが、その律法の中に、「収穫の落ち穂をすべて集めてはならない」という内容があります(レビ記 23:15-22)。

それと関連して、異邦人ルツがユダヤ人ナオミと共にベツレヘムに戻ってきたのが丁度大麦の収穫(初穂の祭り)の時期であり、この七週の祭りの頃にボアズの畑で落穂ひろいをし(ルツ1:22/2:23)、ボアズとルツは結ばれます。それで七週の祭りではルツ記が朗読されるのがユダヤ人の習慣です。ルツ記は、ユダヤ人と異邦人がひとつ(夫婦)となる物語。その子オベテ、その子エッサイ、その子ダビデへと祝福は継承し、キリストが生まれます。

もうひとつは、ちょうどこの七週の祭りの時期は、出エジプトした民、その指導者モーセがシナイ山で十戒と律法を受け取る時期と同じです(聖書暦)。それで出エジプト記19・20章も朗読されますが、これは国家の骨組みと言える「律法」(憲法)を受け取った大切な日。

聖霊降臨にこれだけの旧約聖書の背景があることに驚きを覚えます。主よ、奥義を示してください！